

Panasonic®

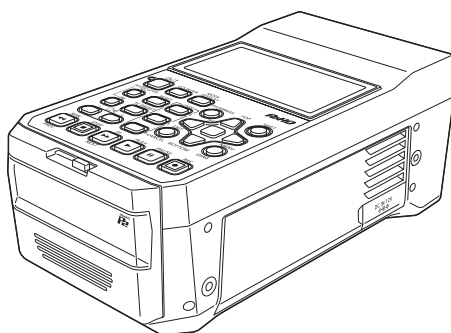
取扱説明書 簡易版

メモリーカード ポータブルレコーダー

品番 **AJ-PG50**

P2HD

micro
P2



HDMI



AVCULTRA

AVCINTRA

AVCLONGG

DVCPROHD

DVCPRO50

DVCPRO

DX

このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（5～10 ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書付き

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

**簡易版
取扱説明書**

詳細は、下記 Web サイトに掲載されている取扱説明書（PDF）を参照してください。
<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>

CG0319MY1042 -PS
Printed in China

JAPANESE
DVQX1878YA

- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Microsoft[®]、Windows[®]は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- QuickTimeおよびQuickTimeロゴはライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。
- Apple、Mac、Mac OS、MacBook、iPhone、iPod touch、iPad、QuickTime、Safariは、米国Apple Inc. の米国および他の国で登録された商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本書内のイラストについて

- レコーダー本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

- 本書では、参照ページを(→「***」*ページ、PDF)のように示しています。

用語について

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードのいずれも「SDメモリーカード」と記載しています。
- 「P2」ロゴがついたメモリーカード(別売のAJ-P2E064FGなど)を「P2メモリーカード」と記載しています。
- 「microP2」ロゴがついたメモリーカード(別売のAJ-P2M032AGなど)を「microP2メモリーカード」と記載しています。
- 「P2メモリーカード」および「microP2メモリーカード」を、「P2カード」と記載しています。また、「P2メモリーカードスロット」および、「microP2メモリーカードスロット」を、「P2カードスロット」と記載しています。
- システム周波数を、23.98 Hz、24 Hzで記録することを「ネイティブ記録」と記載しています。
- 本書では、下記OS(オペレーティングシステム)を、「Windows 7」と記載しています。
 - Micorsoft[®] Windows[®] 7 operating system 日本語版
- 本書では、下記OS(オペレーティングシステム)を、「Windows 8」と記載しています。
 - Micorsoft[®] Windows[®] 8 operating system 日本語版
- USBに接続される外部ハードディスクドライブ(HDD)などのメディアを「ストレージデバイス」と記載しています。
- 1回の記録動作により作成された映像を「クリップ」と呼び、そのように記載しています。
- 本機パネルのオレンジ色の文字のボタン名は[SHIFT] ボタンを押しながらそのボタンを押したときの名称です。操作説明上は「SHIFTを押しながら」とは記載せずにボタン名のみを記載しています。

本製品のプロキシ記録について

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC規格に準拠する動画(以下、AVC ビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ライセンスをうけた提供者から入手されたAVC ビデオを再生する場合
詳細については米国法人MPEG LA, LLC(<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。

WebサイトURLについて

- 日本語 <https://panasonic.biz/cns/sav/>
- 英語 <https://pro-av.panasonic.net/>

著作権について

- あなたが録画や録音した内容は、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

この装置は、クラスB情報技術装置です。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B




目次

安全上のご注意	5	年月日・時刻を合わせる	28
使用上のご注意	11	P2 カードについて	29
本機について	11	P2 カードアクセスランプと P2 カードの状態について	29
AC アダプターについて	13	P2 カードの記録時間について	29
バッテリーについて	13	各種モードについて	32
使用済み充電式電池 (バッテリー) の 届け先	13	メインモード	33
使用済み充電式電池の 取り扱いについて	13	録再画面	33
バッテリーの特性について	13	クリップを記録する	33
使い終わったら、必ずバッテリーを 外してください	13	クリップを再生する	37
バッテリーの端子部を 保護してください	13	サムネール画面	40
ご使用前に	14	サムネール画面を表示する	40
ご使用地域への設定 (フレーム周波数等の設定)	14	タイムコード・ユーザーズビット・ CTL	41
必ず年月日・時刻、タイムゾーンの 確認・設定を行いましょ	14	タイムコード	41
本機で使えるメディアについて	14	ユーザーズビット	41
ドライバーのインストールについて	14	CTL	41
付属品	14	タイムコード/ユーザーズビットの 設定	41
別売品	14	設定メニュー	43
各部の名称と機能	15	メニューの操作	43
操作部	15	メニュー構成	44
スロットおよび入出力他	18	保証とアフターサービス (よくお読みください)	46
入出力端子および電源部	21	定格	47
準備	23		
電源の供給	23		
バッテリーの充電	23		
バッテリーを使う	25		
取り付け	25		
取り外し	25		
AC アダプターを使う	26		
取り付け	26		
取り外し	26		
電源の入れ方・切り方	27		
電源を ON にする	27		
電源を OFF にする	27		
動作中の自動電源オフについて	27		

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。



■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

    	してはいけない内容です。
 	実行しなければならない内容です。

危険

バッテリーは…	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 指定以外のものを使わない ■ 端子部(+-)に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない ■ バッテリーを分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、過熱、火中投入などをしてしない ■ 電子レンジやオーブンなどで加熱しない ■ 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない (液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。) ⇒ 使用しないときは、ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。 ⇒ 不要(寿命)になったバッテリーについては13 ページをご参照ください。 ⇒ 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。 ⇒ 液が身体や衣服に付いたときは、水ですぐ洗い流してください。 ⇒ 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ バッテリーは、専用のバッテリーチャージャーで充電する (指定以外のバッテリーチャージャーで充電すると、発熱・発火・破裂を起こし、けがの原因になります。)



危険(続き)

バッテリーチャージャーは…



- **本機専用のバッテリー以外の充電には使わない**
(液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。)



警告

バッテリーは…

異常、故障時には直ちに使用を中止する



- **異常があったときは、直ちにバッテリーを外す**
[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき]
(そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。)
⇒ ACアダプターで使っている場合は、ACアダプターを外してください。
⇒ 販売店に相談してください。

ACアダプター、バッテリーチャージャーは…

異常、故障時には直ちに使用を中止する



電源
プラグを
抜く

- **異常があったときは、ACアダプターの電源プラグを抜く**
[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき]
(そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。)
⇒ ACアダプターを電源コンセントの近くに設置し、プラグに簡単に手が届くようにしてください。本機を電源から完全に遮断するには、電源コンセントからプラグを抜く必要があります。
⇒ お買い上げの販売店に相談してください。



警告(続き)

	<p>■ ACコードが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高音部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど] (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。) ⇒ コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に相談してください。</p>
	<p>■ コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流100 V~240 V以外での使用はしない (たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 水などの液体をかけたりぬらしたりしない (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。) ⇒ 機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。</p>
	<p>■ 専用のACアダプター以外は使用しない (定格外のACアダプターを使用すると、火災の原因になります。)</p>

本機は…

異常、故障時には直ちに使用を中止する



電源
プラグを
抜く






- 異常があったときは、電源プラグを抜く
 [内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき]
 (そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。)
 ⇒ 本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。
 ⇒ 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
 ⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。



- 電源プラグは、根元まで確実に差し込む
 (差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。)
 ⇒ 傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。
- 電源プラグのほこりなどは、定期的にとる
 (プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。)
 ⇒ 半年に一度はプラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。
- 外部DC電源を使用するときは、電源電圧、およびDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する
 (誤ってGND端子に+12 Vの電源を接続すると火災や故障の原因になります。)
 ⇒ 詳しくは22 ページを参照してください。
 (DC電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)



警告(続き)

	<p>■ 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。) ⇒ 機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないください。</p>
	<p>■ 不安定な場所に置かない (落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。)</p>
	<p>■ 電源を入れたまま長時間直接接触して使用しない (本機の温度の高い部分に、長時間直接接触していると低温やけど※の原因になります。) 長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。 ※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や、皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。</p>
 分解禁止	<p>■ 分解や改造をしない (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ 指定のカバー以外は外さない (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない (感電の原因になります。)</p>
 水場使用禁止	<p>■ 水場で使用しない (火災や感電の原因になります。)</p>
 ぬれ手禁止	<p>■ ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない (感電の原因になります。)</p>



警告(続き)

付属品、別売品は…



- 付属品は指定の製品を使用する
(本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)



- SD / SDHC / SDXCメモリーカード(別売品)、microP2メモリーカード(別売品)は、乳幼児の手の届く所に置かない
(誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。)
⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



注意

本機やACアダプターは…



- 本機の放熱を妨げない
[押し入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない]
(内部に熱がこもり、火災の原因になります。)
- 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない
(特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。)
(本機を絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。)
- 油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない
(火災や感電の原因になります。)
- 電源プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない
(コードが傷つき、火災や感電の原因になります。)
⇒ 必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。
- 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない
(落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。)
(重さで外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)
- コードを下にたらしたり、接続したコードを通路で引き回したりしない
(足などを引っ掛けると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、けがの原因になります。)
- ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない
(ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)



注意(続き)

	■ 病院内や飛行機内では、病院や航空会社の指示に従う (本機が出す電磁波などが、計器類に影響を及ぼすおそれがあります。)
	■ 1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談をする (本機の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になります。)
 電源 プラグを 抜く	■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーを外し、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く (火災や感電の原因になります。)

■ 本機で使えるバッテリーについて(2019年4月現在)

本機で使用できるパナソニック製バッテリーはAG-VBR59(付属品)およびAG-VBR89 / AG-VBR118 / VW-VBD55 / VW-VBD58です。

パナソニック純正バッテリー(充電式電池)ご使用のおすすめ

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、当社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。

なお、当社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 本製品(付属品を含む)に表示の記号は以下を示しています。(本機では表示されていないシンボルもあります。)

⏻	電源ON
⏻	スタンバイ(OFF)
~	AC(交流)
—	DC(直流)
⏻	クラスII 機器(二重絶縁構造)

使用上のご注意

本機について

■ 録画内容の補償はできません

- 本機およびP2カードの使用上、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

■ 雨天、降雪中、海岸などで使うときは、本機に水が入らないようお気をつけください。

- 本機やカードの故障につながります。(修理できなくなることがあります)

■ 本機を直射日光にさらされた場所に置かないでください。

- キャビネットの劣化や、液晶画面の損傷のおそれがあります。

■ 磁気を発生する機器(テレビ、テレビゲームなど)から本機を遠ざけてください。

- テレビの上やその周辺で本機を使用すると、電磁波の放射により画像や音声にひずみが生じることがあります。
- スピーカーや大型モーターが発生する強力な磁場は、録画内容を破損したり、画像をゆがめたりすることがあります。
- マイクロコンピューターから放出される電磁波は、本機に悪影響を及ぼし画像や音声にひずみを生じさせることがあります。
- 磁気を発生する機器により本機が悪影響を受け、正確に動作しなくなった場合は、本機の電源を切り、ACコードをコンセントから抜きます。そしてもう一度ACコードを接続します。その後本機の電源を入れます。

■ 本機をラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用しないでください。

- ラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用すると、記録した画像や音に悪影響が出るおそれがあります。

■ 海岸や野外などで使用する場合、砂やほこりが本機に入らないようお気をつけください。

- 砂やほこりで本機やカードが破損することがあります。(カードを出し入れするときには、お気をつけください)

■ 本機を持ち運ぶとき、落とさないようにお気をつけください。

- 強い衝撃で本機本体が破損し、正しく動作しなくなることがあります。

■ 本機に殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。

- 殺虫剤や揮発性のものがかかると、本機本体が変形したり、塗装がはげたりするおそれがあります。
- 本機は、ゴム製品やビニール製品に長期間接触させたままにしないでください。

■ メモリーカードやストレージデバイスを破棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパーソナルコンピューターの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカードやストレージデバイス内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカードやストレージデバイス本体を物理的に破壊するか、市販のパーソナルコンピューター用データ消去ソフトなどを使って、メモリーカードやストレージデバイス内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカードやストレージデバイス内のデータはおお客様の責任において管理してください。

■ 液晶について

- 液晶モニターのドットについては有効画素の99.99%以上の高精度管理をしていますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えるものではありません。
- 表示映像によっては、画面にムラが発生する場合があります。
- 液晶部を固い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面に傷がつく原因となります。
- 液晶の応答速度や輝度は使用温度によって変化します。
- 本機を、温度や湿度の高いところに長時間放置すると、液晶パネルの特性が変化し、ムラの原因となります。
- 本機に、不正規な信号を長時間入力すると、液晶パネルの特性が変化し、ムラの原因となります。
- 液晶モニターはその特性上、明るい静止画などの長時間連続表示や、高温多湿環境下での連続使用をされますと、残像、輝度低下、焼きつき、すじなどが発生したり、パネルの一部分の明るさが、しみのように恒久的に変化したままになる場合があります。特に、次のような映像の長時間連続表示は避けてください。

- 明るい静止画
- 固定されたロゴマークなどの映像
- サムネール画面
- コンピューターのウィンドウなどの明るい表示
- モニターのアスペクト比と異なるアスペクト比の映像(レターボックスなどの帯が表示される映像)

また、次のような環境での連続使用は避けてください。

- 高温多湿になる密閉された場所
 - 空調設備の吹き出し口近くなど
- 上記のような映像や環境での長時間使用は液晶パネルの経年変化を早めます。

経年変化の現象を未然に防ぐため、次のことをおすすめします。

- 明るい静止画などは長時間連続して表示しない
- 輝度を下げる
- 使用しない場合は本体の電源を切る

残像現象は、画面表示を変えることで徐々に解消される場合もあります。

■ ネットワーク機能のご使用に関するお願い

- ワイヤレスLANの「DIRECT」モードで5 GHz設定時、屋外での使用が禁止されています。
※「DIRECT」モードは、スマートフォン、タブレット端末、パーソナルコンピューターから本機に直接アクセスするモードです。
- ネットワーク機能を使用するためにネットワークに対して誤った設定を行った結果生じた損害に対して、当社では補償できませんので、あらかじめご了承ください。また、本機能を使用した結果生じた損害に対しても、当社では補償できませんので、併せてご了承ください。

■ セキュリティに関するお願い

ネットワークをご使用になる場合、下記のような被害を受けることが想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

パーソナルコンピューターや携帯端末のセキュリティ対策を十分に行ってください。

- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック コネクト株式会社および、その関係会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。
- 本製品を修理、保守、廃棄、譲渡する場合は、情報の漏えいを防ぐためネットワーク設定の初期化を行ってください。

■ 本製品に関するソフトウェア情報

1. 本製品には、GNU General Public License(GPL)ならびにGNU Lesser General Public License(LGPL)に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。
2. 本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
3. This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)
4. 本製品には、OpenBSD Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
5. This product includes PHP, freely available from <<http://www.php.net/>>
6. This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
7. 本製品には、MOZILLA PUBLIC LICENSE に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。これらの内容(原文[英文]で記載しております)と、ソースコードの入手については、次のWebサイトを参照してください。(→[WebサイトURLについて] 2ページ)
なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

ACアダプターについて

付属のACアダプターを使用してください。ご使用の際には、取扱説明書(本書)をよく読んでご使用ください。(→「ACアダプターを使う」26ページ)

バッテリーについて

使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ。

詳細は、一般社団法人JBRCのWebサイトをご覧ください。

- WebサイトURL: <http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



Li-ion

充電式

リチウムイオン
電池使用

バッテリーの特性について

本機のバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。内部の化学反応で電気エネルギーを発生しています。

この化学反応は周囲の温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほどバッテリーの有効使用時間は短くなります。極端に温度が低い環境で使用した場合は、満充電でも5分ほどしか動作しないこともあります。バッテリーが極端に高温になると、保護機能が働き、しばらく使用できなくなります。

使い終わったら、必ずバッテリーを外してください

本機からバッテリーを確実に外してください。付けたままにしておく、本機の電源が切れていても、微量電流が消費されてしまいます。長期間バッテリーを付けたままにしておく、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。

バッテリーの端子部を保護してください

バッテリーの端子部にほこりや異物が付かないようにしてください。

また、バッテリーを誤って落下させてしまった場合、バッテリー本体と端子部が変形していないか確認してください。変形したバッテリーを本機に入れたり、バッテリーチャージャーに付けたりすると、本機やバッテリーチャージャー側を傷めることがあります。

ご使用の前に

ご使用地域への設定（フレーム周波数等の設定）

本機は使用地域が未設定の状態でご出荷されています。初めて本機をご使用になるときには、同梱のチラシを参照してください。

必ず年月日・時刻、タイムゾーンの確認・設定を行いましょ

記録したコンテンツの管理、再生順序に影響します。記録の前に年月日・時刻、タイムゾーンの設定・確認を行ってください。

本機を長時間(約3か月)無通電で放置すると、電源投入時に「BACKUP BATT EMPTY」と表示されることがあります。その場合は年月日・時刻情報が初期化されていますので、再度設定を行ってください。(→「年月日・時刻を合わせる」28 ページ)

また、バックアップ電池の充電をおこなってください。(→「BACKUP BATT EMPTY」PDF)

本機で使えるメディアについて

以下のメディアが使用できます。詳しくはそれぞれのページをご覧ください。

■ 記録再生

- P2メモリーカードおよびmicroP2メモリーカード(→「P2カードについて」29 ページ)

■ プロキシー記録、データ保存

- SD / SDHC / SDXCメモリーカード(→「SD / SDHC / SDXCメモリーカードのご使用について」PDF)

ドライバーのインストールについて

ご使用の前に、当社Webサイトから必要なドライバーをパーソナルコンピューターにインストールしてください。

ドライバーのインストール手順は、当社Webサイトにあるインストールマニュアルをご参照ください。

ドライバーに関する最新情報は当社Webサイトをご覧ください。(→「WebサイトURLについて」2 ページ)をご覧ください。

付属品

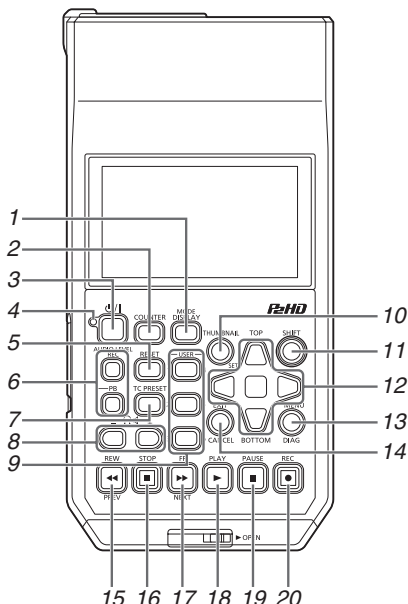
付属品については、同梱のチラシを参照してください。

別売品

- バッテリー AG-VBR59 (7.28 V/5900 mAh: 付属のバッテリーと同等品)
- バッテリー AG-VBR89 (7.28 V/8850 mAh)
- バッテリー AG-VBR118 (7.28 V/11800 mAh)
- バッテリー VW-VBD58 (7.2 V/5800 mAh)
- バッテリーチャージャー AG-BRD50 (8.4 V/4.0 A)
- バッテリーチャージャー AG-B23 (8.4 V/1.2 A)

各部の名称と機能

操作部



ボタン名表示について:ボタン表記で<****>の名称は[SHIFT]ボタンと同時に押したときの名称です。
<例> [SHIFT] ボタンと[DISPLAY / MODE] ボタンの同時押しは、<MODE> ボタンと呼びます。

1. DISPLAY・MODEボタン

[DISPLAY] ボタン:

OSDの表示を「表示なし」→「OSD表示」→「表示なし」と切り替えることができます。

(→「画面の表示」PDF)

<MODE> ボタン:

USB デバイスモード(USB DEVICE)、およびPLAYLIST編集モードに切り替えるときに使用します。

(→「USBデバイスモード」PDF、「P2 プレイリスト編集モード」PDF)

2. COUNTERボタン

カウンタ表示を以下の順番で切り替えることができます。

TC→UB→CTL→TC

(→「タイムコード・ユーザズビット・CTL」41 ページ)

3. 電源ボタン

電源のON / OFFを行います。

(→「電源の入れ方・切り方」27 ページ)

4. 電源ランプ

本機の動作状態を表します。

(→「電源の入れ方・切り方」27 ページ)

電源を入れた後や操作中に異常が検出されると電源ランプ、およびピープ音で異常発生を知らせます。

(→「ワーニング内容一覧」PDF)

5. RESETボタン

表示パネルのカウンター表示がCTLのとき、このボタンを押すとカウンター表示が「0:00:00:00」になります。

(→「タイムコード・ユーザズビット・CTL」41 ページ)

6. AUDIO LEVELボタン

[AUDIO LEVEL-REC]ボタン:

ボタンを押すと記録音声レベル調整画面が表示されます。

(→「クリップを記録する」33 ページ)

[AUDIO LEVEL-PB]ボタン:

ボタンを押すと再生音声レベル調整画面が表示されます。

(→「クリップを再生する」37 ページ)


7. TC PRESETボタン

TCやUBの値を設定するボタンです。

(→「タイムコード・ユーザーズビット・CTL」41 ページ)

8. (モニター音量調整)ボタン

モニター音量調整:

 ボタンの[+] / [-] ボタンを押すと、スピーカーとヘッドホン端子から出力される音量調整値が表示され、音量を調節できます。一定時間経過後、または[SET] ボタンあるいは[EXIT] ボタンを押すと通常の表示へ戻ります。

9. USER 1-3・4-6ボタン

ユーザーが任意の機能を割り当てできるボタンです。

(→「USER BUTTON」PDF)

10. THUMBNAILボタン

サムネール画面の表示・非表示を切り替えます。

(→「サムネール画面を表示する」40 ページ)

11. SHIFTボタン

このボタンを押しながら他のボタンを同時に押すことで、定義されたボタン操作を行います。

12. カーソル操作ボタン

[上] / [下] / [左] / [右]カーソルボタン:

• サムネールやメニューなどのカーソル移動の操作を行います。

• 再生中に[左] / [右] 十字カーソルボタン押しで、SHTLモードとなり速度を可変できます。

(→「可変速再生」37 ページ)

• 可変速再生中に[SET]ボタンを押すと再生が一時停止します。

• 再生静止画を表示中に[上] / [下]カーソルボタンを押すと、コマ送りができます。(→「コマ送り再生」38 ページ)

• 記録再生音声レベル調整の音声チャンネル切り替えに、[左] / [右]カーソルボタンを使用します。

(→「クリップを記録する」33 ページ)

<TOP> / <BOTTOM> ボタン:

サムネールの先頭(TOP)あるいは最終(BOTTOM)へカーソルを移動します。

[SET] ボタン:

サムネールの選択やメニュー選択などの操作を行います。

13. MENU・DIAGボタン

[MENU]ボタン:

ボタンを押すとメニューを表示します。

<DIAG> ボタン:

メニューを表示していないときにボタンを押すと、各種状態表示を行うダイアグ画面を表示します。

(→「デッキ情報(ダイアグ)表示」PDF)

14. EXIT・CANCELボタン

[EXIT]ボタン:

メニューを閉じたり、ストレージ・エクスプローラーから通常の表示へ戻ります。

<CANCEL> ボタン:

選択の解除やコピー操作の中断などを行います。

15. REW・PREV ボタン

[REW]ボタン:

早戻し再生します。

速度は、メニュー「FF.REW MAX」(→PDF)で選択可能です。

<PREV> ボタン:

再生中に、現在または前のクリップ、あるいはクリップおよびテキストメモ位置の頭だしを行います。

16. STOP ボタン

再生または記録を停止します。

17. FF・NEXT ボタン

[FF]ボタン:

早送り再生します。

速度は、メニュー「FF.REW MAX」(→PDF)で選択可能です。

<NEXT> ボタン:

再生中に次のクリップ、あるいはクリップおよびテキストメモ位置の頭だしを行います。

18. PLAY ボタン

再生します。

(→「クリップを再生する」37 ページ)

19. PAUSE ボタン

再生中に押すと一時停止(STILL)し、静止画を表示します。

一時停止中に押すと再生が開始されます。


記録中に押すと記録待機(PAUSE)状態となります。


記録待機状態中に押すと記録が開始されます。

20. REC ボタン

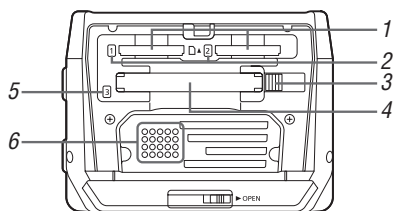
再生画出力中にEEの映像と音声を確認できます。ボタンを押している間、EEを継続します。

EEの確認は、再生画のフォーマットとメニュー「LINE&FREQ」(→PDF)の設定が一致するときのみ可能です。記録可能なメディアがない場合は動作しません。

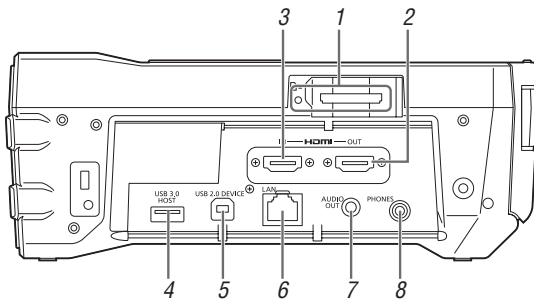
[PLAY]  ボタンと同時に押すと記録を開始します。

[PAUSE]  ボタンと同時に押すと記録待機状態となります。メニューを設定することでカメラからのリモート記録ができます。リモート記録の設定はメニュー「AUTO REC」(→PDF)で行います。

スロットおよび入出力他



- 1. microP2メモリーカードスロット**
(→「P2カードについて」29 ページ)
- 2. microP2メモリーカードアクセスランプ**
(→「P2 カードアクセスランプとP2カードの
状態について」29 ページ)
- 3. EJECTボタン**
(→「P2カードについて」29 ページ)
- 4. P2メモリーカードスロット**
(→「P2カードについて」29 ページ)
- 5. P2メモリーカードアクセスランプ**
(→「P2 カードアクセスランプとP2カードの
状態について」29 ページ)
- 6. スピーカー**
オーディオのモニター音を出力します。
ヘッドホンを接続するとモニター音は出力さ
れません。



1. SD / SDHC / SDXCメモリーカードスロット / アクセスランプ

SD / SDHC / SDXCメモリーカードを挿入します。

挿入するときは、カードのラベル面を上にしてコーナーカット側から入れ、ロックされるまで挿入します。

取り出すときは、アクセスランプが緑色点灯していないことを確認し、カードを挿入した方向に押しつけてロックを解除します。

◆NOTE:

SD / SDHC / SDXCメモリーカードは、CPSパスワードの読み込み、メニューの読み書き、メタデータの読み書き、プロキシ記録に使用します。
(→「SD / SDHC / SDXCメモリーカードのご使用について」PDF)

2. HDMI OUT端子

HDMIケーブルを使用し、モニターやテレビと接続します。

◆NOTE:

- 本機はピエラリンクに対応しておりません。ピエラリンク対応機器とHDMIケーブルで接続すると、他の機器のピエラリンクが正しく動作しないことがありますのでお気をつけください。
- 本端子に接続するケーブルは、ダブルシールドのものをご使用ください。
- 「[VIDEO]-[INPUT SEL]」で「[HDMI]」を選択した場合、HDMI出力端子からはEE映像・音声等の信号は出力されません。サムネール画面も出力されません。

3. HDMI IN端子

HDMIケーブルを使用し、カメラレコーダーなどと接続します。

◆NOTE:

- 本機はピエラリンクに対応しておりません。ピエラリンク対応機器とHDMIケーブルで接続すると、他の機器のピエラリンクが正しく動作しないことがありますのでお気をつけください。
- 本端子に接続するケーブルは、ダブルシールドのものをご使用ください。
- HDCP信号を検出したときは、外部出力は停止し、記録はできません。サムネール画面も出力されません。
- 本機は、60 Hz JUST周波数信号には対応しておりません。入力信号には、59.94 Hz系または50 Hz系信号をご使用ください。また、59.94 Hz系または50 Hz系の信号であっても、周波数がずれている場合は、受信することができません（一部のパーソナルコンピューターなど）。
- 入力信号が受信できない信号の場合、「[INVALID INPUT FORMAT]」のワーニングを表示し、映像をブラックミュートします。

4. USB3.0 HOST端子(USB3.0 TYPE A)

(→「[USB HOST端子で外部機器と接続する」PDF)

◆NOTE:

- 本端子に接続するケーブルは、ダブルシールドのものをご使用ください。
- USB3.0対応のストレージデバイスと接続する場合は、USB3.0規格準拠のケーブルをご使用ください。
- 本機をバッテリーでご利用時、「[USB3.0 HOST]」端子へ接続するストレージデバイスには、外部から電源を供給ください。

5. USB2.0 デバイス端子 (→「USBデバイスモード」PDF)

◆NOTE:

本端子に接続するケーブルは、ダブルシールドのものをご使用ください。

6. LAN端子 100BASE-TX / 10BASE-Tでネットワーク接続することができます。 (→「本機をネットワークに接続して利用する」PDF)

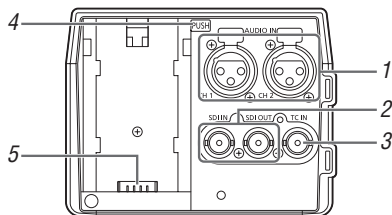
◆NOTE:

- 本端子に接続するケーブルは、シールド付きのものをご利用ください。
- LANリンクが確立している場合は、オレンジのランプが点灯します。データ転送中は緑のランプが点滅します。

7. AUDIO OUT端子 オーディオ信号(CH1～CH4)の中からメニュー「MONITOR CH」(→PDF)で選択した信号を出力します。

8. PHONES(ヘッドホン)端子 ヘッドホンジャック: ステレオヘッドホンを接続すると、記録・再生中の音声をヘッドホンで聞くことができます。

入出力端子および電源部

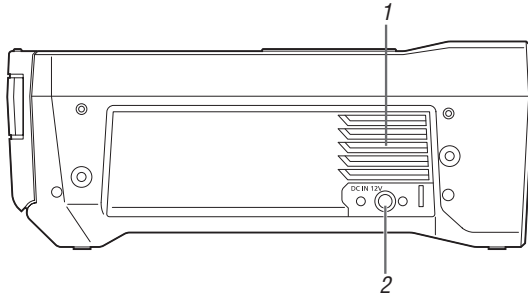


- 1. ANALOG AUDIO IN端子**
アナログオーディオの入力端子です。
- 2. HD / SD - SDI IN / OUT端子**
シリアル・デジタル・コンポーネント・オーディオ / ビデオ信号の入出力ができます。メニュー「OSD OUTPUT」(→PDF)の設定により、スーパーを重畳する出力端子、およびメニュー「GUI OUTPUT」(→PDF)の設定によりサムネール画面を重畳する出力端子を変更することができます。

◆NOTE:

本端子に接続するケーブルは、5C-FB相当のダブルシールドのものをご使用ください。

- 3. TIME CODE IN端子**
外部タイムコードを、P2カードに記録するための端子です。
- 4. バッテリーロック解除ボタン**
(→「バッテリーを使う」25 ページ)
- 5. バッテリー装着部**
(→「バッテリーを使う」25 ページ)




1. FAN

本機冷却用のファンです。通風を妨げないように設置してください。

◆NOTE:

電源ON中に、ファンが停止したときは、ワーニング表示として「FAN STOPPED」(→PDF)が表示されます。すみやかに使用を中止の上、電源OFFし、販売店にご相談ください。

2. DC IN端子

DC12Vの電源を接続します。
電圧が約10.0Vまで低下したとき、本機の電源は自動的にOFFになります。
その後、電源電圧が回復しても自動的に復帰しません。復帰させるには、[/I]ボタンを1秒以上押してください。

◆NOTE:

外部DC電源を使用するときは、必ず、外部DC電源の定格をご確認のうえ、本機に適合するものを使用してください。外部DC電源のDC出力端子と本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。誤ってGND端子に+12Vの電源を接続すると、火災やけがの原因になります。

準備

電源の供給

本機の電源には、バッテリー、または付属のACアダプターが使用できます。

- 本機は、次のバッテリーに対応しています。(2019年4月現在)
 - AG-VBR59(付属品 / 別売品、急速充電対応)
 - AG-VBR89(別売品、急速充電対応)
 - AG-VBR118(別売品、急速充電対応)
 - VW-VBD55(別売品:販売終了)
 - VW-VBD58(別売品)

バッテリーの充電

お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。バッテリーを使用する前に、バッテリーチャージャーで満充電してください。

予備のバッテリーを1本用意することをお勧めします。

- バッテリーの充電は、周囲の温度が10℃～30℃(バッテリーの温度も同様)のところで行うことをお勧めします。
- 付属のACコードは、本機専用です。ほかの機器には使用しないでください。また、ほかの機器のACコードを本機に使用しないでください。
- 付属のバッテリーチャージャーは、2個のバッテリーを同時に充電できます。また、急速充電対応バッテリーに対応しています。

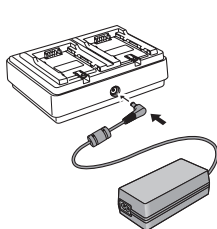


図1

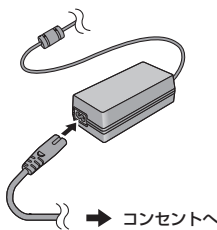


図2

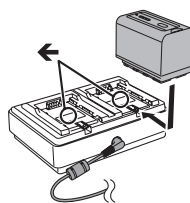


図3

1 ACアダプターのDCプラグをバッテリーチャージャーのDC IN 12V端子に接続する(図1)

2 ACコードをACアダプターに接続する(図2)

- ACコードが奥に突き当たるまで差し込んでください。

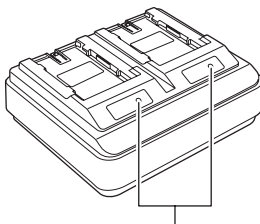
3 電源プラグをコンセントに接続する(図2)

4 バッテリーチャージャーにバッテリーを取り付ける(図3)

バッテリーを取り付けた側の充電ランプが点灯し、充電が開始されます。

- ←マークに沿ってバッテリーを水平にのせてスライドさせてください。
- 充電が完了すると、〈CHARGE1〉/〈CHARGE2〉ランプ(充電ランプ)が消灯します。バッテリーをスライドさせて取り外してください。

■ 〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉ランプの表示



〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉 ランプ

付属のバッテリーチャージャーの〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉ランプ(充電ランプ)は、充電の状態次のように表示します。

〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉ランプの表示	充電の状態
緑色(点灯)	急速充電中
オレンジ色(点灯)	通常充電中
オレンジ色(点滅)	異常により充電を停止中
消灯	充電完了、またはバッテリーが取り付けられていない

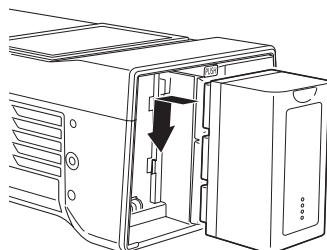
◆NOTE:

- バッテリーチャージャーは、バッテリーを取り付けたあとにバッテリーの状態を判断します。このため、充電ランプが点灯するまでに時間がかかることがあります。10秒以上経過しても充電ランプが点灯しないときは、バッテリーを取り付け直してください。
- 急速充電対応バッテリーが2個取り付けられた場合、〈CHARGE1〉側の急速充電が優先され、〈CHARGE2〉側は通常の充電になります。
〈CHARGE1〉側のバッテリーの充電が進むと、自動的に〈CHARGE2〉側が急速充電に切り替わります。
また、バッテリーの充電状態により、〈CHARGE2〉側に取り付けたバッテリーのインジケータが消灯することがあります。
- バッテリーチャージャーは、バッテリーの状態を判断してから最適な充電をします。充電が開始されると、急速充電対応バッテリーのインジケータが点滅表示になります。また、〈CHARGE1〉側と〈CHARGE2〉側の両方で充電しているときに、どちらかのバッテリーを取り付け/取り外したり、交換したりすると、両方の充電を中止します。再度、バッテリーの状態を判断してから充電を開始します。
- 優先して充電するバッテリーは、〈CHARGE1〉側に取り付けて充電してください。

バッテリーを使う

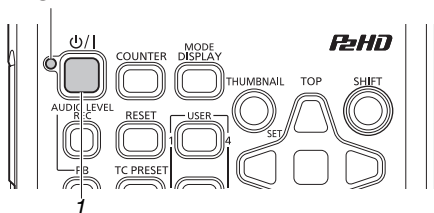
取り付け

- 1 バッテリーをカチッという音がするまでスライドさせて取り付ける



取り外し

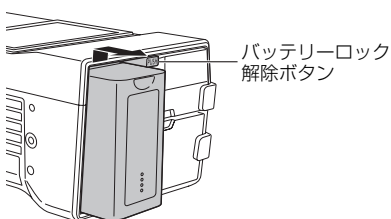
電源ランプ



- 1 [電源]ボタンを2秒以上押して本機の電源をOFFにし、電源ランプが消灯したことを確認する
- 2 バッテリーロック解除ボタンを押しながらバッテリーを取り外す
バッテリーを落下させないように手で支えておいてください。

◆NOTE:

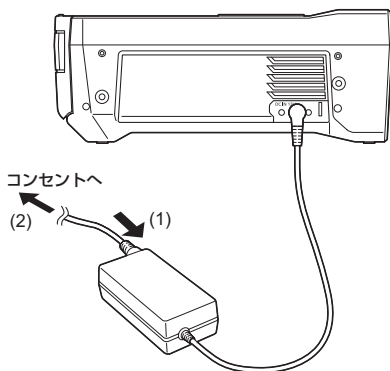
本機の電源がONの場合は、必ず本機の電源をOFFにしてから、バッテリーを取り外してください。



ACアダプターを使う

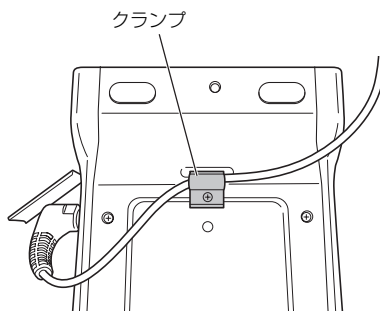
取り付け

- 1 ACコードを接続する
図の順番で差し込んでください。



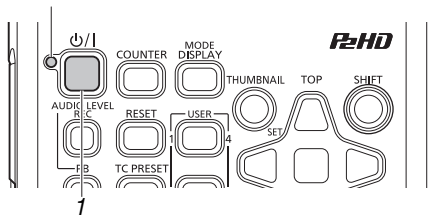
- 2 DCコードのプラグをDC IN端子に接続する

- 3 DCコードをクランプする



取り外し

⏻/|ランプ



- 1 [⏻/|]ボタンを2秒以上押して本機の電源をOFFにし、⏻/|ランプが消灯したことを確認する

- 2 DCコードのプラグを取り外す

◆NOTE:

本機の電源がONの場合は、必ず本機の電源をOFFにしてから、DCコードのプラグを取り外してください。

- 3 ACコード(ACアダプター用)をコンセントから抜く

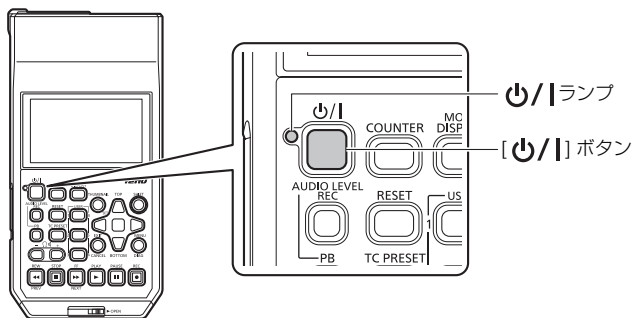
◆NOTE:

- ACアダプターは全世界の電源電圧(100 V ~ 240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)で動作するように設計されています。ただし、国によって電源コンセントの形状は異なります。その国に合ったプラグを準備してください。変換プラグはお買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。
- 本機を使用しないときは、ACコード(ACアダプター用)をコンセントから外してください。

電源の入れ方・切り方

電源をONにする

電源がOFFの状態では[**⏻/⏮**] ボタンを1秒以上押し、電源がONになります。起動後は**⏻/⏮**ランプが緑色に点灯します。



◆NOTE:

起動中は以下のメッセージが表示されます。

- [STARTING SYSTEM...]: 起動中点滅します
- [AUTO POWER OFF = * min]: "*"にはメニュー「AUTO POWER OFF」(→PDF)で設定されている時間が表示されます。また、メニュー設定を「OFF」に設定すると、このメッセージは表示されません。



電源をOFFにする

電源ONの状態では[**⏻/⏮**] ボタンを2秒以上押し、電源がOFFになります。電源OFF処理中は**⏻/⏮**ランプが点滅し、その後**⏻/⏮**ランプが消灯します。

動作中の自動電源オフについて

本機は、記録、再生、コピーおよびフォーマットなどの動作をしていない状態がしばらく経過すると自動的に電源がOFFになる機能があります。自動でOFFになった後でご使用になるときには、再度電源をONにしてください。

◆NOTE:

電源を自動的にOFFにするまでの時間は、メニュー「AUTO POWER OFF」(→PDF)で設定できます。

年月日・時刻を合わせる

本機を最初に使用する前に時計の設定を行います。

- 1 本機の[**⏻** / **⏪**] ボタンを1秒以上押し、電源をONにする
- 2 [MENU] ボタンを押し、メニューを表示する
(→「メニューの操作」43 ページ)
- 3 カーソルボタンで、メニュー「CLOCK」(→PDF)を選択し、[SET] ボタンを押す
時計の設定画面が表示されます。初期値は現在時刻です。



- 4 [左] / [右] カーソルボタンで設定したい部分にカーソルを移動する
 - 年 / 月 / 日 / 時 / 分 / タイムゾーンの順で表示されています。
 - タイムゾーンでは、グリニッジ標準時間からの時差を設定します。
 - 時刻は24時制で表示しています。
- 5 [上] / [下] カーソルボタンで年月日・時刻・タイムゾーンを設定する
- 6 設定後、[SET] ボタンを押す
[SET] ボタンを押すことで変更した時刻が時計に設定されます。

◆NOTE:

- 時刻には誤差が生じますので、使用前に時間が合っているか確認してください。
- 正確な時刻を必要とするときは、ご使用前に、時刻確認、再設定を行ってください。

■ タイムゾーン表

時差	地域	時差	地域
00:00	グリニッジ	+ 01:00	中央ヨーロッパ
- 00:30		+ 01:30	
- 01:00	アゾレス諸島	+ 02:00	東ヨーロッパ
- 01:30		+ 02:30	
- 02:00	中部大西洋	+ 03:00	モスクワ
- 02:30		+ 03:30	テヘラン
- 03:00	ブエノスアイレス	+ 04:00	アブダビ
- 03:30	ニューファンランド島	+ 04:30	カブール
- 04:00	ハリファックス	+ 05:00	イスラマバード
- 04:30	カラカス	+ 05:30	ムンバイ
- 05:00	ニューヨーク	+ 06:00	ダッカ
- 05:30		+ 06:30	ヤンゴン
- 06:00	シカゴ	+ 07:00	バンコク
- 06:30		+ 07:30	
- 07:00	デンバー	+ 08:00	北京
- 07:30		+ 08:30	
- 08:00	ロスアンゼルス	+ 09:00	東京
- 08:30		+ 09:30	ダーウィン
- 09:00	アラスカ	+ 10:00	グアム
- 09:30	マルケサス諸島	+ 10:30	ロード・ハウ・アイランド
- 10:00	ハワイ	+ 11:00	ソロモン諸島
- 10:30		+ 11:30	
- 11:00	ミッドウェイ諸島	+ 12:00	ニュージーランド
- 11:30		+ 12:45	チャタム諸島
- 12:00	クワジャリン	+ 13:00	フェニックス諸島
+ 00:30			

■ 内蔵時計の電池について

長期間電源を入れていない場合など内蔵時計の電池が空になると、「BACKUP BATT EMPTY」警告が表示されます。その場合は、ACアダプターを接続し、約4時間そのままにして電池の充電を行ってください。

充電後も「BACKUP BATT EMPTY」の警告が表示される場合は、内蔵電池の交換が必要です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

P2カードについて

P2 カードアクセスランプとP2カードの状態について

P2カードアクセスランプ	P2カードの状態	
緑色に点灯	記録可能	書き込み/読み出しとも可能です。
オレンジ色に点灯	記録対象	書き込み/読み出しとも可能で、現在記録の対象になっています。
オレンジ色の点滅	アクセス中	現在、書き込み/読み出し中です。
オレンジ色の早い点滅	カード認識中	P2カードを認識中です。
緑色の遅い点滅	カードフル	P2カードのメモリー残量がありません。読み出しのみ可能です。
消灯	ライトプロテクト	P2カードのライトプロテクトスイッチがProtect側に なっています。読み出しのみ可能です。
	記録対象外のカード	SDメモリーカードなどが挿入されているため、現在設定されている記録フォーマットでは、記録できません。読み出しのみ可能です。記録するには、記録フォーマットを変更するか、P2カードをご使用ください。
	記録対象外のスロット	メニュー「REC MEDIA」(microP2/P2) (→ PDF)の設定と異なるスロットにカードが挿入されています。
消灯	対象外のカード	本機では使用できないカードです。カードを交換してください。
	フォーマット不正	P2カードが正規のフォーマットをされていません。フォーマットをやり直してください。
	カードなし	P2カードが挿入されていません。カード認識待ち。
	認証外のカード	認証できないmicroP2メモリーカードです。「CPSの手動認証 / 自動認証」(→PDF)を参照して認証してください。
	USB非アクセス	USBデバイスモードでP2カードにアクセスしていません。

◆NOTE:

microP2メモリー カードをゆっくりと挿入した場合、「FORMAT ERROR!」や「NOT SUPPORTED!」が表示されることがあります。その場合、もう一度挿入しなおしてください。

P2カードの記録時間について

本機で使用できるP2カード

本機では、別売品の4 GBから64 GBのP2メモリーカードおよびmicroP2メモリーカードが使用できます。(2014年12月現在)

◆NOTE:

- 1080/59.94p、1080/50pのAVC-Intra100選択時、およびLINE&FREQの設定にかかわらずAVC-Intra200選択時は、以下のP2カードには記録できません。
 - H、R、A、EシリーズのP2メモリーカード
 - microP2カードアダプタ(AJ-P2AD1G)へ装着のカード
- AJ-P2C002SG(2 GB)のカードは使用できません。
- P2カードの種類によっては、本機のアップデートが必要になることがあります。
- 取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、Webサイトを参照してください。(→「WebサイトURLについて」2 ページ)

P2カードの記録時間

(64 GB カード 1 枚使用の場合の例)

「LINE&FREQ」設定 (記録フォーマット)	「REC FORMAT」設定 (コーデック)	記録時間
1080-59.94P、1080-50P	AVC-I100	約32分
	AVC-G25	約110分
1080-59.94i、1080-50i	AVC-I100	約64分
	AVC-G25	約220分
720-59.94P、720-50P	AVC-I100	約64分
	AVC-G25	約220分
480-59.94i、576-50i	DVCPRO50	約128分
	DVCPRO	約256分

◆NOTE:

- 32 GBのP2カードの場合は上記の各記録時間の 1/2、16 GB の P2カードの場合は 1/4、8 GBのP2カードの場合は1/8となります。
- 表示容量には管理領域などが含まれており、記録に使用できる容量は上記より少なくなります。

P2カードに記録されるクリップの分割について

本機で8 GB以上のP2カードを使用した場合、1回の連続記録時間が下表に示す時間を超えると、自動的に別のクリップとして記録を継続します。

記録フォーマット(ネイティブ記録を除く)	連続記録時間
AVC-I200、AVC-I100(1080p)	約3分
AVC-I100(1080i)、DVCPRO HD	約5分
AVC-G50、AVC-I50、DVCPRO50	約10分
AVC-G25、DVCPRO、DV	約20分

また、メニュー「FILE SPLIT」(→PDF)の設定により記録するクリップを約128秒ごとに分割することができます。この分割機能を用いてレックデュアリングアップロード機能を使用することにより、クリップの転送タイミングを早めることができます。P2機器でクリップのサムネール操作(表示、削除、修復など)を行う場合は、分割されたクリップも1つのクリップとして操作できます。

ただし、ノンリニア編集ソフト、およびパーソナルコンピューターなどでは、別々のクリップとして表示されることがあります。

なお、AVC-LongGコーデックを使用し32 GB超のmicroP2メモリーカードへ記録を行う場合は、メニュー「FILE SPLIT」(→PDF)の設定により同一クリップとして記録を継続することができます。同一クリップでは4 GBを超えた記録が行えますが、本機のusb-hostモードによるストレージコピーは行えません。

またパーソナルコンピューターなどストレージ側のフォーマットで1ファイルの最大容量が4 GBなどに制限されている場合(NTFS、FAT32など)は、クリップがコピーできませんので、お使いの環境に合わせて設定してください。

◆NOTE:

クリップを128秒ごとに分割で記録した場合は、最大213分までしか記録できません。

CPS(Content Protection System)について

microP2メモリーカードは、暗号化フォーマットを行うことで、第三者へのデータ流出を防止するセキュリティ機能である「Content Protection System」をサポートしています。

CPS機能を利用するためには、本体にCPSパスワードを設定し、microP2メモリーカードの認証機能(→「CPSの手動認証 / 自動認証」PDF)と暗号化フォーマット機能(→「P2カード / SDメモリーカードをフォーマットする」PDF)を有効にします。同一のCPSパスワードが設定された機器間でのみ、暗号化フォーマットされたmicroP2メモリーカードが自動認証され、記録・再生可能なmicroP2メモリーカードとして利用することができます。なお、CPSパスワードについては「CPSの手動認証 / 自動認証」(→PDF)を参照してください。

◆NOTE:

- パスワードは16文字まで入力可能です。
- 暗号化されたmicroP2メモリーカードはパーソナルコンピューターのSDカードスロットでは認識できません。
- 認証エラーになった場合、正しいパスワードで認証しなおすか、フォーマットすることで記録メディアとして使用いただくか、機器から取り出してください。認証エラーのカードを挿入したままで、手動認証、フォーマット以外の操作はしないでください。
- USBデバイスモードでパーソナルコンピューターから暗号化されたmicroP2メモリーカードにアクセスする場合は、P2 Viewer Plusで暗号化されたmicroP2メモリーカードを認証してください。

メインモード

録再画面

録再画面では以下のことが行えます。

- P2カードへの記録
- 全カードの記録日時順の再生

クリップを記録する

映像と音声をクリップとして記録します。

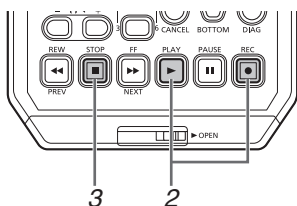
クリップの記録

記録する前にメニューで記録する周波数やフォーマット、記録するスロットおよび入力信号などを設定します。

(→設定メニュー「SYSTEM MODE」PDF、
「REC/PB」PDF)

◆NOTE:

オーディオの入力にアナログを選択した場合は、音声ファイルは4チャンネル作成されますが、CH1,CH2以外には無音が記録されます。



1 P2カードを挿入する

2 [REC] ボタンを押しながら[PLAY] ボタンを押す

P2カードアクセスランプがオレンジ色に点灯しているスロットに、記録を開始します。

◆NOTE:

メニュー「CODEC USAGE」(→PDF)を「PROXY REC(P2)」または「PROXY REC(P2&SD)」に設定して記録することにより、本素材の記録と同時にプロキシー記録を開始します。(→「デュアルコーデック(プロキシー)記録」36 ページ)

3 [STOP] ボタンを押して記録を停止する

◆NOTE:

本機のP2メモリーカードスロット(3)とmicroP2メモリーカードスロット(1,2)の混在した記録はできません。メニュー「REC MEDIA」(→PDF)で記録対象のスロットを選択してください。

■ 記録音声レベル調整について

次の方法で記録する音量レベルの変更ができます。

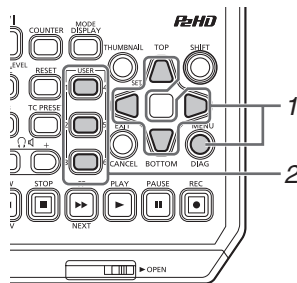
1. [AUDIO LEVEL-REC]ボタンを押す
記録ボリュームが表示されます。
2. [上]/[下]カーソルボタンを操作する
3. [左]/[右]カーソルボタンで音声チャンネルを個別に選択する
選択したチャンネル番号が点滅し、チャンネルごとに操作ができます。
4. 調整を終了後、[AUDIO LEVEL - REC]ボタン、または[SET]ボタン、または[EXIT]ボタンを押す
設定値を保存し、表示が消えます。

◆NOTE:

- 設定した値は、電源を切っても変わりません。
- 音声レベルの変更中に[RESET]ボタンを押すと、選択チャンネルのレベルを基準値に戻すことができます。

■ 記録スロットの変更について

microP2カードスロットでは、記録中または停止中に記録対象のスロットを変更することができません。



1. メニュー「USER BUTTON」(→PDF)で、[USER] ボタンに「SLOT SEL」機能を割り当てる

2. 記録中または停止中に、[USER] ボタンを押す。 押すたびに記録スロットが変更されます。

◆NOTE:

- 記録対象のP2カードに切り替えを行った直後などでSLOT SELECTが行えなかった場合は、メニュー「OSD TC SELECT」(→PDF)を「T&S&M」に設定しているときに、OSDの3行目に「SLOT SEL INVALID」と表示します。
- SLOT SEL機能で切り替わるスロットは、メニュー「REC MEDIA」(→PDF)でmicroP2を選択した場合に限定されます。

さまざまな記録

■ ホットスワップ記録

microP2メモリーカードスロットの両方にP2カードを装着すれば、2枚のカードにわたって連続記録することができます。また、1枚を記録中にもう片方のカードを差し替えて、3枚以上のカードに連続記録することもできます(ホットスワップ記録)。

◆NOTE:

- 空きスロットにP2カードを挿入するタイミング(2つのスロットにわたって連続記録するときの前後)によって、P2カードの認識が遅くなり、ホットスワップ記録ができない場合があります。P2カードを挿入する際は、現在記録中のカードの残量が1分以上の状態で行うことを推奨します。
- 本機はホットスワップ再生に対応しておりません。

■ LOOP REC

microP2メモリーカードスロットに2枚のP2カードが挿入されているとき、順次記録対象カードを切り替えながら連続記録する機能が“LOOP REC”です。P2カードの記録残量がなくなった時点で最初に戻って、古い記録を消去しながら新規に記録を行うことにより、継続的な記録が可能となります。

LOOP REC機能を使用するには、メニュー「RECORDING」(→PDF)にて「LOOP」を選択してください。

◆NOTE:

- microP2メモリーカードのみLOOP REC機能が使用可能です。P2メモリーカードでは使用できません。
- LOOP RECには、1分以上の記録残量があるP2カードをご使用ください。
- LOOP REC中は、記録に使用するP2カードのP2カードアクセスランプが、すべてオレンジ色に点灯します。これらのP2カードを抜くと、LOOP RECは停止しますのでお気をつけください。

メニュー「RECORDING」にて「LOOP」を選択しているときは

- OSDの2行目に「LOOP」と表示されます。ただし「RECORDING」にて「LOOP」を選択しているときでも、カードが1枚しか挿入されていなかったり、カードの記録残量が1分未満の場合、LOOP RECは機能しません。この場合、OSDの「LOOP」表示が点滅します。
- P2カード残量は記録フォーマットに応じた標準的な記録保証時間を表示します。古い記録を消去した直後にLOOP RECを停止した場合、実際の残量は表示された時間より少なくなることがあります。
- プロキシ記録はできません。

LOOP REC中は

- ショットマークの付加、削除はできません。また、テキストメモの付加はできません。

LOOP RECモードを解除するには

- メニュー「RECORDING」にて「NORMAL」を選択する。

■ AUTO REC

本機能に対応したカメラとHD SDIまたはHDMIで接続しているときに、カメラのREC START / STOPに連動して自動的に記録を開始・停止させることができます。

1. メニュー「AUTO REC」(→PDF)を使用するカメラに合わせる
2. 本機の[REC]  ボタンと[PAUSE]  ボタンを同時に押しREC PAUSEモードにする
カメラのREC START / STOPに連動して記録・停止を繰り返します。

◆NOTE:

本機の記録開始・停止タイミングはカメラよりも遅れることがあり、精度を保証するものではありません。

■ SIMUL REC

microP2メモリーカードスロットに2枚のP2カードが挿入されているとき、同じ映像を2枚のP2カードに記録する機能です。

SIMUL REC機能を使用するには、メニュー「SIMUL REC」(→PDF)にて「ON」を選択してください。

◆NOTE:

- メディア残量表示には、SIMUL RECができる残量時間(記録残量が少ないほうのメモリーカード残量時間)が表示されます。
- 各スロットどちらかのP2カードの記録残量がなくなった場合、SIMUL RECを停止します。
- SIMUL RECはメニュー「LINE&FREQ」(→PDF)が「1080-59.94P」または「1080-50P」に設定されているときは記録できません。
- SIMUL REC中にどちらかのP2カードに記録異常が発生し、記録が停止した場合、もう一方のP2カードは継続して記録します。ただし、アクセス中にカードを抜いた場合は記録を終了します。
- P2カードが2枚とも認識されてから記録を開始してください。P2カードが2枚とも認識される前に記録を開始した場合は、認識されたどちらか1枚のP2カードで通常記録を行います。その場合、記録の終了後にカードの状態を確認しますので、その時点で2枚を認識すればSIMUL RECを行います。

メニュー「SIMUL REC」にて「ON」を選択しているときは

- OSDの2行目に「SIMUL」と表示されます。ただし、「SIMUL REC」を「ON」に設定しているときでも、カードが1枚しか挿入されていなかった場合はSIMUL RECは機能しません。この場合、OSDの「SIMUL」表示が点滅します。
- 「SIMUL」表示が点滅しているときに記録ボタンを押すと、記録残量のあるP2カードに通常記録を行います。

SIMUL RECモードを解除するには

- メニュー「SIMUL REC」にて「OFF」を選択する。

デュアルコーデック(プロキシー)記録



本機で記録した本素材の映像・音声記録とは別に、H.264形式の映像とタイムコードデータなどのリアルタイムデータを、P2カードおよびSDメモリーカードに同時に記録します。

(→メニュー「DUAL CODEC SETUP」PDF)

■ 記録モードと記録信号(ビデオ、オーディオ)

記録モード	ビデオ			オーディオ		
	解像度	コーデック	ビットレート	コーデック	チャンネル数	1チャンネルあたりのビットレート
LOW 2CH MOV	1080iモード 480 × 270 1080 59.94/ 50pモード 320 × 180	H.264 Baseline Profile	800 kbps	AAC-LC	2CH	64 kbps
HQ 2CH MOV	640 × 360	H.264 High Profile	1500 kbps	AAC-LC	2CH	64 kbps
SHQ 2CH MOV	960 × 540	H.264 High Profile	3500 kbps	リニアPCM	2CH	768 kbps
AVC-G6 2CH MOV	1920 × 1080	H.264 High Profile	6 Mbps	AAC-LC	2CH	64 kbps

■ プロキシーデータの記録

メニュー「CODEC USAGE」(→PDF)を「PROXY REC(P2)」または「PROXY REC(P2&SD)」に設定して、「REC」 ボタンを押しながら「PLAY」 ボタンを押すことにより、本素材の記録と同時にプロキシー記録を開始します。

- 記録されたプロキシーデータの詳細情報を、クリップのプロパティから確認することができます。(→「クリップメタデータ情報の表示」PDF)
- プロキシーデータは、映像音声ファイルとリアルタイムメタデータファイルとして、P2カードやSDメモリーカードに記録されます。

映像音声ファイル:*****.MOV
リアルタイムメタデータファイル:*****
***.BIN
フレーム単位にタイムコード、ユーザーズビットなどの情報を記録します。

◆ NOTE:

- 次のモードのときは、デュアルコーデック記録はできません。
 - LOOP REC
 - SIMUL REC
 - 480-59.94i、576-50iのとき
 - AVC-I200
- メニュー「LINE&FREQ」(→PDF)で「1080-59.94p」または「1080-50p」に設定している場合は記録できません。
- メニュー「REC FORMAT」(→PDF)で「DVCPRO HD」または「AVC-G12」、「AVC-I50」に設定している場合は、「AVC-G6 2CH MOV」は記録できません。
- メニュー「FILE SPLIT」(→PDF)で「ONE FILE」に設定している場合は記録できません。
- プロキシーデータをSDメモリーカードに記録する場合は、class2以上のクラス表示のあるSDメモリーカードをご使用ください。
- プロキシーデータをSDメモリーカードに記録中は、SDメモリーカードアクセスランプが、緑色に点灯します。
- 短い記録を繰り返すと、記録できる時間が空き容量に比べ大きく減少することがあります。
- クリップ数が1000以上になると、容量が残っていてもSDメモリーカードにプロキシーデータを記録することができません。メニュー「SD CARD PROPERTY」(→PDF)の「NUMBER OF CLIP」で、SDメモリーカードに記録されているクリップ数を確認します。
- SDメモリーカード内のクリップには、ショットマーク、およびテキストメモを付けることができません。
- サムネール画面で、P2カードに記録されたクリップを削除しても、SDメモリーカードに記録されたプロキシーデータは削除されません。

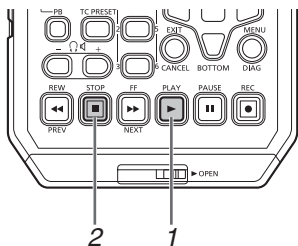
■ プロキシデータの確認

- プロキシデータの記録を行った素材のクリップには **P** のインジケータが表示されます。
- プロキシデータは、P2 Viewer Plusで確認してください。P2 Viewer Plusのバージョンによっては確認できない場合があります。P2 Viewer Plusに関する情報は当社Webサイトをご覧ください。(→「WebサイトURLについて」2 ページ)
- プロキシデータは、本機では再生できません。

クリップを再生する

再生する

再生する前に、メニューで再生する周波数やフォーマットなどを設定します。(→設定メニュー「SYSTEM MODE」PDF)



1 [PLAY] ボタンを押す

再生が始まります。再生はクリップの記録順に再生されます。

◆NOTE:

- [PLAY] ボタンの代わりに、[REW] ボタンを押すと早戻し再生、[FF] ボタンを押すと早送り再生を行います。
- 異なった圧縮記録フォーマットを再生すると、クリップとクリップの間で映像、音声が乱れることがあります。
- 同じフォーマット映像で音声ビット数が異なったクリップを連続再生すると、クリップ間の音声がミュートになります。

2 [STOP] ボタンを押す

再生が停止し入力画(EE)が表示されます。

■ 再生音声レベル調整について

次の方法で再生レベルの変更ができます。

- [AUDIO LEVEL-PB]ボタンを押す**
再生ボリュームが表示されます。
- [上]/[下]カーソルボタンを押す**
全チャンネルのレベルが操作できます。
- [左]/[右]カーソルボタンで音声チャンネルを個別に選択する**
選択したチャンネル番号が点滅し、チャンネルごとに操作ができます。
- 調整を終了後、[AUDIO LEVEL - PB]ボタンまたは[EXIT] ボタンを押す**
設定値を保存し、表示が消えます。

◆NOTE:

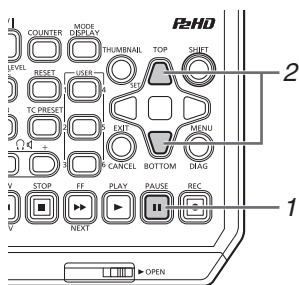
- 設定した値は、電源を切っても変わりません。
- 音量レベルの変更中に[RESET]ボタンを押すと、選択チャンネルのレベルを基準値に戻すことができます。

可変速再生

再生速度を変えて、場面を探すことができます。

- 再生、STILL中に、[左]/[右] 十字カーソルボタンを押す**
高速またはスロー再生となり、SHTL +/-「速度」が表示されます。
- [左]/[右] 十字カーソルボタンを押して、再生速度を切り替える**
 - ボタンを押すごとに再生速度が変化します。可変速度の最大値はメニュー「SHUTTLE MAX」(→PDF)の設定値に従います
 - 10 倍速より速い速度では音声は再生されません。
 - [右] 十字カーソルボタンで正方向に速度を変化させ、[左] 十字カーソルボタンで逆方向に速度を変化させます。
 - [STILL / PAUSE] ボタンや[SET]ボタンを押すと速度0状態になります。通常の再生に戻すには、[PLAY] ボタンを押します。
 - ネイティブ記録された素材の可変速再生(X1 倍速を含む)では、ブルダウンシーケンスが均一でないときがあります。
 - AVC-Gフォーマットで記録されたクリップの逆再生および高速再生では全フレームの画は再生されず、間欠再生となります。

コマ送り再生



1 [PAUSE] ボタンを押して、静止画状態にする

2 [上]/[下]カーソルボタンを押す

- [上]カーソルボタンで正方向に、[下]カーソルボタンで逆方向にコマ送りします。
- カーソルボタンを押し続けると、連続してコマ送りします。通常の再生に戻すには、[PLAY] ボタンを押します。

単一クリップ再生(1クリップ再生)

1 メニュー「USER BUTTON」(→PDF)で、[USER]ボタンに「1 CLIP PLAY」機能を割り当てる

2 サムネール表示中またはサムネール表示画面から[PAUSE] ボタンを押し、静止画状態のときに「1 CLIP PLAY」を割り当てた[USER]ボタンを押す

- カーソル位置または現在位置のクリップのみ再生します。
- この再生中はSTOPのみ有効です。

◆NOTE:

- [SHIFT]ボタンを押しながら[PLAY] ボタンを押したときも、単一クリップ再生を行いません。
- 録再画面モードで「1 CLIP PLAY」操作しても単一クリップ再生は行いません。この場合は通常の再生となります。

クリップおよびテキストメモ送り/ 戻し

1 再生、静止画中など映像が出ている状態にする

2 [PREV]ボタンまたは[NEXT]ボタンを押すメニュー「SEEK POS SEL」(→PDF)の設定値に従い、クリップ先頭やテキストメモ位置に移動します。

クリップ再生の全体遷移

本機では映像・音声の再生速度を可変することができます。速度や状態の動かし方は以下の図のとおりです。

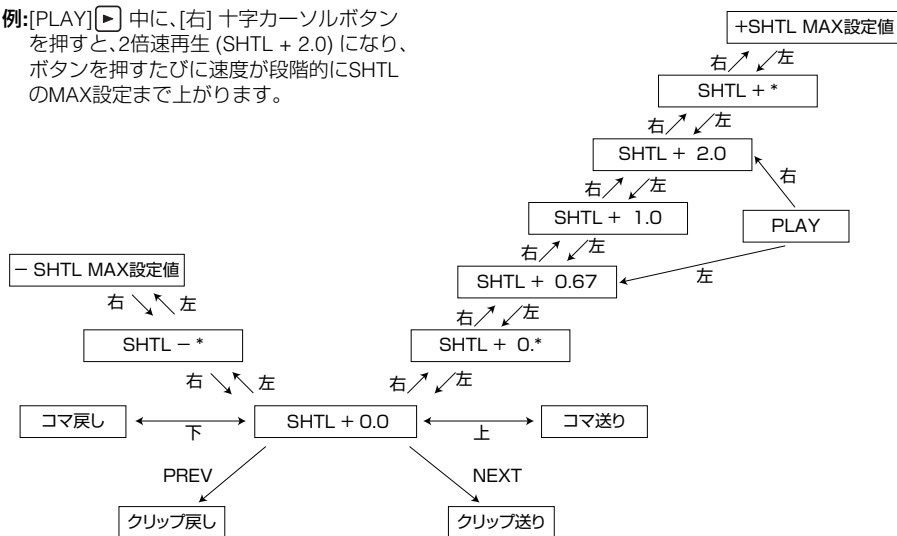
枠内: 状態と速度

矢印: 遷移可能な方向

矢印文字: カーソルボタン操作

- 図表の*は、段階的に変わる速度を表します。

例:[PLAY] [▶] 中に、[右] 十字カーソルボタンを押すと、2倍速再生 (SHTL + 2.0) になり、ボタンを押すたびに速度が段階的にSHTLのMAX設定まで上がります。



リピート再生

再生可能なクリップを繰り返して再生します。

1 [MENU]を押して、メニューを表示する (→「メニューの操作」43 ページ)

2 メニュー「REPEAT PLAY」(→PDF)を「ON」に設定する

3 メニューを閉じる

4 [PLAY] [▶] ボタンを押して再生を始める。すべてのクリップを繰り返し再生します。

- [STOP] [■] ボタンが押されるまで、繰り返し再生を行います。
- 可変速再生など、通常再生以外の動作では、繰り返し再生を行わず、再生可能なクリップの始端 (BOS) または終端 (EOS) で停止します。
- リピート再生時は、OSDの動作状態に「REPEAT PLAY」と表示されます。

サムネール画面

本機にはクリップを管理するためのサムネール画面があります。「クリップ」とは、画像、音声、メタデータなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータのごとで、通常は記録を開始して停止するまでの1回の記録によって生成される「1ショット」が「1クリップ」になります。複数のP2カードにまたがったショットについても単一クリップとして扱われます。

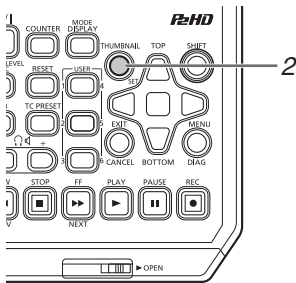
サムネール画面には、各クリップに記録されたサムネールが一覧表示されます。このサムネールを確認しながら、以下の操作を行ってクリップを管理できます。

- P2カードのクリップの再生
- ストレージデバイス内のクリップの簡易再生
- クリップのコピーや削除
- クリップにテキストメモを付加
- テキストメモの確認と削除
- ショットマークの表示と消去
- P2カードのフォーマット
- クリップのプロパティ表示
- P2カードの状態表示

◆NOTE:

- サムネールは、実際の映像の一部成分から生成されています。そのため実際の映像より荒いものとなります。
- サムネールに関するメニューはサムネール画面のときに操作できます。

サムネール画面を表示する



- [THUMBNAIL] ボタンを押す**
液晶モニターにサムネール画面が表示されず。
再度[THUMBNAIL] ボタンを押すとサムネール画面が閉じ、録再画面表示(ビデオ映像)となります。

◆NOTE:

メニュー「GUI OUTPUT」(→PDF)の設定で、HDMI OUT、SDI OUTに出力することができます。

- 本機の[\square /|] ボタンを1秒以上押し、電源をONにする**

◆NOTE:

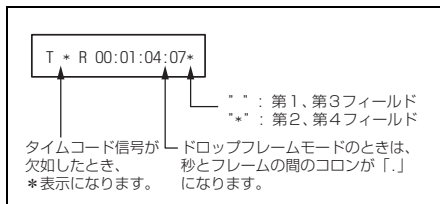
メニュー「POWER ON GUI」(→PDF)で「THUMBNAIL」を選択している場合は、電源を入るとサムネール画面が表示されます。



タイムコード・ユーザーズビット・CTL

タイムコード

タイムコードは、タイムコードジェネレーターによって発生されるタイムコード信号を記録します。タイムコード値はディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。



ユーザーズビット


ユーザーズビットは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された32ビット(8桁)の情報枠のことです。オペレーターナンバーなどを記録することができます。ユーザーズビットに使用できる数字(文字)は0~9とABCDEFです。

CTL

再生時は、先頭から再生している画像までの相対位置が表示されます。記録は、カウンター値が「0:00:00:00」から開始されます。記録終了時は、先頭からの相対位置が表示されます。

タイムコード/ユーザーズビットの設定

内部モード

- 1 停止モードにする
[STOP]  ボタンを押して、停止モードにしてください。
- 2 [COUNTER] ボタンで「TC」または「UB」を選択する
- 3 メニュー「RUN MODE」(→PDF)でタイムコードジェネレーターの歩進方法を設定する
- 4 メニュー「TCG MODE」(→PDF) / 「UBG MODE」(→PDF)でTCとUBの各モードを設定する

REC RUN:	記録中のみ歩進させる。
FREE RUN:	動作モードに関係なく歩進させる。

REGEN:	P2カードに記録された最終タイムコードとのタイムコードの連続性を保つ。
PRESET:	[TC PRESET]ボタンで設定された値から記録を開始する。
EXT:	外部タイムコード入力に従って記録する。

5 [TC PRESET] ボタンを使ってタイムコード / ユーザーズビットの開始値を設定する TC/UBの設定方法:

- 1) [TC PRESET] ボタンを押す
左端の桁が点滅します。
- 2) [上] / [下] カーソルボタンを押して値を変更する
- 3) [左] / [右] カーソルボタンを押して、設定する桁を選択する
選択された桁が点滅します。
設定範囲は次の通りです。

タイムコード:	<59.94 Hz><29.97 Hz> 00:00:00:00 - 23:59:59:29
	<50 Hz><25 Hz> 00:00:00:00 - 23:59:59:24
ユーザーズ ビット:	00 00 00 00 - FF FF FF FF

6 手順5の2)~3)を繰り返して、値を変更する [RESET] ボタンを押すと、プリセット値を0にリセットできます。

7 開始値の設定終了後、[SET] ボタンを押すメニュー「RUN MODE」(→PDF)を「FREE RUN」に設定したときは、すぐにタイムコードの歩進が開始します。 設定をキャンセルするには、[EXIT]ボタンまたは[CANCEL]ボタンを押します。

■ 電源供給がないときのタイムコードについて

電源供給がないときもバックアップ機能がはたらいて、タイムコードジェネレーターは長時間(約3か月)動作を続けます。

◆NOTE:

- 長時間放置によりバックアップできなくなると、本機の電源投入時に「BACKUP BATT EMPTY」警告が表示され、本機の年月日・時刻を再度設定する必要があります。
(「年月日・時刻を合わせる」28 ページ、「BACKUP BATT EMPTY」PDF)
- メニュー「LINE&FREQ」(→PDF)の設定を変更したとき、歩進データはクリアされます。

外部モード

1 [STOP] ボタンを押して、停止モードにする

2 [COUNTER]ボタンで「TC」を選択する

3 メニュー「TCG MODE」(→PDF) / 「UBG MODE」(→PDF)を「EXT」にする (外部タイムコードの選択)

4 メニュー「EXT TC SEL」(→PDF)で、外部入力タイムコードの種類を選択する

EXT LTC: リアパネルのTIME CODE IN端子 (BNC)に入力されるLTC信号を記録します。

S/H LTC: SDI IN端子またはHDMI IN端子に入力された信号に付加されているLTC信号を記録します。

S/H VITC: SDI IN端子またはHDMI IN端子に入力された信号に付加されているVITC信号を記録します。

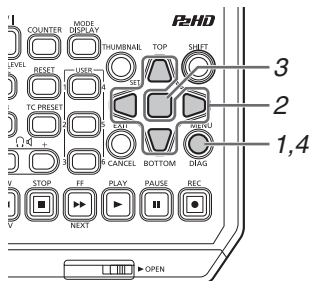
◆NOTE:

「S/H LTC」、「S/H VITC」設定時に、入力信号として「SD SDI」が選択されているときは、入力ビデオ信号のVITCが記録されます。

設定メニュー

メニューの操作

メニューは次のように操作します。



3 [SET] ボタンを押す

◆NOTE:

- メニュー項目によっては、確認画面が表示されます。
- カーソルボタンで処理を選択し、[SET] ボタンを押します。
- 設定した項目には、項目の前にチェックマークがつきます。
- 一部のメニューでは、数値設定のための画面が表示されます。
- システムの周波数設定が変わる場合は再起動が必要となります。

4 [MENU] ボタンを押し、メニューを終了する

◆NOTE:

メニュー項目によっては、自動的に元の画面に戻ります。

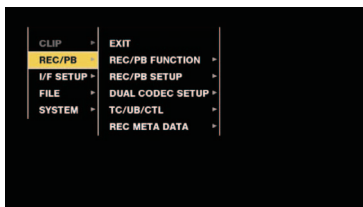
1 [MENU] ボタンを押し、メニューを表示する

2 カーソルボタンで該当のメニュー項目にカーソルを合わせる

次の階層にメニューがある場合はメニュー項目に「▶」が表示されています。

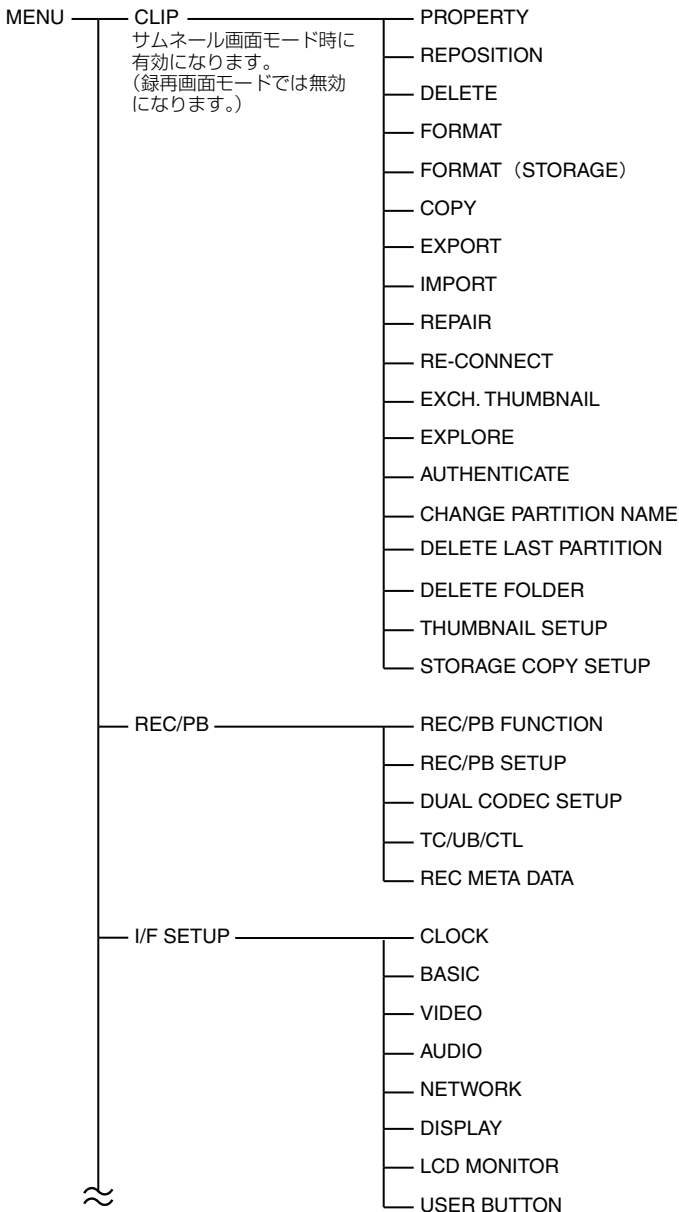
◆NOTE:

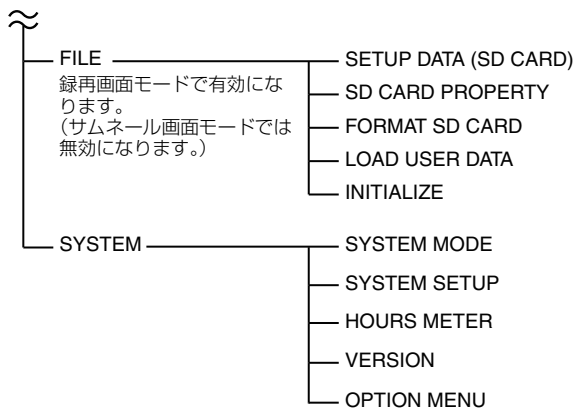
- [上] / [下] カーソルボタンを押すとカーソルが上下します。
- [右] カーソルボタンまたは[SET] ボタンを押すと、下位のメニューが開きます。
- [左] カーソルボタンまたは[EXIT] ボタンで上の階層へ戻ります。



設定したデータの保存と読み込み、および工場出荷状態への設定方法は、PDFをご参照ください。

メニュー構成





保証とアフターサービス(よくお読みください)

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社(裏表紙)までご連絡ください。

* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

補修用性能部品の保有期間

8年

当社では、このメモリーカードポータブルレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保守・点検

保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。

部品の劣化、ごみ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を推奨いたします。

保守・点検(有料)についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

メンテナンス時間の目安と実施項目

下記のメンテナンス実施時間は、標準的な目安として設定しており、部品の寿命時間ではありません。また、使用する環境や使用方法により劣化する時間は異なりますのでお気をつけください。

部品名	数量	定期保守点検と時間
液晶モニター	1	LCD ON 8,000時間ごとに交換
ファン	1	12,000時間ごとに交換
ACアダプター	1	12,000時間ごとに交換

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認のうえ、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡いただきたい内容

品名	メモリーカードポータブルレコーダー
品番	AJ-PG50
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

総合

電源:	DC(==) 7.28 V(バッテリー使用時)
	DC(==) 12 V(ACアダプター使用時)
消費電力:	21.4 W

は安全項目です。

動作周囲温度:	0℃～40℃
動作周囲湿度:	10%～80% (結露なし)
保存周囲温度:	-20℃～50℃
質量:	1.1 kg
外形寸法 (幅×高さ×奥行):	108 mm x 85 mm x 217 mm (セット足および端子キャップなど突起部を除く)
記録メディア:	P2メモリーカード、microP2メモリーカード
記録フォーマット:	AVC-Intra200 / AVC-Intra100 / AVC-Intra50 / AVC-LongG50 / AVC-LongG25 / AVC-LongG12 DVCPRO HD / DVCPRO50 / DVCPRO / DV フォーマット切り替え
プロキシーファイル フォーマット:	MOV(QuickTime形式)
プロキシービデオ圧縮 フォーマット:	H.264/AVC Baseline Profile、H.264/AVC High Profile
プロキシーオーディオ:	AAC-LC、リニアPCM
記録ビデオ信号:	1080/59.94p、1080/50p、1080/59.94i、1080/50i、720/59.94p、 720/50p、480/59.94i、576/50i
記録オーディオ信号:	AVC-Intra200 / AVC-LongG50 / AVC-LongG25: 48 kHz 24 bit 4CH
	AVC-LongG12: 48kHz 16 bit 4CH
	AVC-Intra100 / AVC-Intra50: 48 kHz 16 bit 4CH 48 kHz 24 bit 4CH
	DVCPRO HD: 48 kHz 16 bit 4CH
	DVCPRO50: 48 kHz 16 bit 4CH
	DVCPRO / DV: 48 kHz 16 bit 4CH

記録時間:

カード	記録方法(圧縮方式) 59.94 Hz / 50 Hz					
	AVC-Intra200	AVC-Intra100 / DVCPRO HD	AVC-Intra50 / AVC-LongG50 / DVCPRO50	DVCPRO	AVC-LongG25	AVC-LongG12
16 GB×1	約8分	約16分	約32分	約64分	約54分	約108分
32 GB×1	約16分	約32分	約64分	約128分	約110分	約220分
64 GB×1	約32分	約64分	約128分	約256分	約220分	約440分

◆NOTE:

- 1080/59.94p、1080/50pでは、上記時間の半分になります。
- 上記の時間は、いずれもP2カードに1クリップを連続記録したときのもので、
- 記録するクリップ数によっては、記録できる時間は上記より短くなると場合があります。

ビデオ

デジタルビデオ

サンプリング周波数:	AVC-Intra200 / AVC-Intra100 / AVC-LongG50 / AVC-LongG25 / DVCPRO HD: (59.94 Hz) Y : 74.1758 MHz、P _B /P _R : 37.0879 MHz (50 Hz) Y : 74.2500 MHz、P _B /P _R : 37.1250 MHz
	AVC-Intra100 / AVC-LongG25: (1080/59.94p) Y : 148.3516 MHz、P _B /P _R : 74.1758 MHz (1080/50p) Y : 148.5000 MHz、P _B /P _R : 74.2500 MHz
	DVCPRO50: Y:13.5 MHz、P _B /P _R : 6.75 MHz
	DVCPRO: Y: 13.5 MHz、P _B /P _R : 3.375 MHz
量子化:	AVC-Intra200 / AVC-Intra100 / AVC-Intra50 / AVC-LongG50 / AVC-LongG25: 10 bit AVC-LongG12 / DVCPRO HD / DVCPRO50 / DVCPRO / DV: 8 bit
ビデオ圧縮方式:	AVC-Intra200 / AVC-Intra100 / AVC-Intra50: MPEG-4 AVC / H.264 Intra Profile AVC-LongG50 / AVC-LongG25 / AVC-LongG12: MPEG-4 AVC / H.264 High Profile DVCPRO HD: DV-Based Compression (SMPTE ST 370)
カラーサンプリング:	AVC-Intra200 / AVC-Intra100 / AVC-LongG50 / AVC-LongG25: Y : P _B : P _R = 4 : 2 : 2

解像度:	AVC-Intra100 / AVC-LongG25 / AVC-LongG12: 1920 × 1080 (1080/59.94p, 1080/50p)
	AVC-Intra200 / AVC-Intra100 / AVC-LongG50 / AVC-LongG25 / AVC-LongG12: 1920 × 1080 (1080/59.94i, 1080/50i) 1280 × 720 (720/59.94p, 720/50p)
	AVC-Intra50: 1440 × 1080 (1080/59.94i, 1080/50i) 960 × 720 (720/59.94p, 720/50p)

ビデオ入力信号

SDI入力:	BNC×1
HDMI入力:	HDMI×1 (HDMI TYPE A端子)、(ピエラリンク非対応、HDCP対応)

ビデオ出力信号

SDI出力(HD/SD切り替え式):	BNC×1
HDMI出力:	HDMI×1 (HDMI TYPE A端子)、(ピエラリンク非対応)

◆NOTE:

[VIDEO] - [INPUT SEL]で「HDMI」を選択した場合、HDMI出力端子からは映像・音声等の信号は出力されません。

オーディオ

デジタルオーディオ

サンプリング周波数:	48 kHz (ビデオに同期)
量子化:	16 bit (AVC-LongG12 / DVCPRO HD / DVCPRO50 / DVCPRO / DV) 16 bit / 24 bit切り替え可能 (AVC-Intra100 / AVC-Intra50) 24 bit (AVC-Intra200 / AVC-LongG50 / AVC-LongG25)
ヘッドルーム:	12 dB / 18 dB / 20 dB (切り替え可能)
ディエンファシス:	T1=50 μs、T2=15 μs (ON / OFF自動切り替え)

オーディオ入力信号

アナログ入力(CH1、CH2):	XLR×2
SDI入力:	BNC×1
HDMI入力:	2 CH (リニアPCM)、16 bit

オーディオ出力信号

SDI出力:	BNC×1
アナログ出力 (モニター(L/R)):	ステレオミニジャック (3.5 mm径)
ヘッドホン出力:	ステレオミニジャック (3.5 mm径)、レベル可変
HDMI出力:	2 CH (リニアPCM)、16 bit
内蔵スピーカー:	丸型×1 (モノラル)

その他入出力

タイムコード入力:	BNC×1、0.5 V[p-p]~8.0 V[p-p]、10 kΩ
LAN:	RJ-45×1、100BASE-TX / 10BASE-T
USBホスト:	USB3.0 HOST (TYPE A)×1
USBデバイス:	USB2.0 DEVICE (TYPE B)×1

ACアダプター

定格入力: AC(〜) 100 V-240 V、50 Hz/60 Hz、1.2 A
定格出力: DC(==) 12 V、3.0 A

は安全項目です。

動作周囲温度:	0 °C ~ 40 °C
動作周囲湿度:	10% ~ 90% (相対湿度、結露なし)
質量:	約225 g
外形寸法(幅×高さ×奥行):	115 mm × 37 mm × 57 mm (DCコード部を除く)

バッテリーチャージャー

入力電圧: DC(==) 12 V、3.0 A
出力電圧: DC(==) 8.4 V、4.0 A

は安全項目です。

充電電流:	最大4,000 mA
動作周囲湿度:	10% ~ 80% (相対湿度、結露なし)
質量:	約230 g
外形寸法(幅×高さ×奥行):	130 mm × 48 mm × 107 mm

バッテリーパック

電圧: DC(==) 7.28 V
容量: 5900 mAh、43 Wh

は安全項目です。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2. 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
3. この商品は出張修理させていただきますので、修理に際し、本書をご提示ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
 - (ニ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
 - (ホ) 一般使用環境以外（例えば、強震、高温などの場所）に使用された場合の故障及び損傷
 - (ヘ) 取扱説明書に指定する摩耗性の部品、あるいは付属品の故障及び損傷
 - (ト) 本書のご提示がない場合
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名への記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (リ) 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行なう場合の出張に要する実費および高所の取外し、取付けに要する実費。
5. 故障、その他により正常に記録ができなかった場合のデータ補修・記録内容の補償、及び営業上の機会損失等の損害に対する補償は致しかねます。また本機を修理した場合においても同様です。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

製造番号をご記入ください。

- ※ お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

メモリーカード ポータブルレコーダー 保証書

本書はお買い上げの日から右記期間中故障が発生した場合には〈無料修理規定〉の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は〈無料修理規定〉に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は〈無料修理規定〉をご参照ください。

品番	AJ-PG50		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間		
* お買い上げ日	年	月	日
* お客様	ご住所		
	お名前		
	電話 () -		
* 販売店	住所・販売店名		
	電話 () -		

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

パナソニック コネクト株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 TEL 0120-872-233

パナソニック コネクト株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ 0120-872-233

© Panasonic Connect Co., Ltd. 2014-2022